

単元名: Before & After、最優秀「匠」賞コンテスト

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-
話題分野	住まい	言語レベル	2	必要時間数	8時間

I 単元目標

外国からの友だちをもてなしたり、環境・バリアフリー、人間関係などに配慮した「理想の家」にすべく我が家のリフォームプランを作り、韓国の交流校も参加するコンペティションで発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆日韓双方の発表を見て、内容を理解することができる。 ◆個人もしくはグループで「理想の家」のリフォーム案の発表をすることができる。 ◆大会参加者と積極的に対話し、交流することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境やバリアフリーに配慮した住まいについて、調べたり、比較したりすることができる。 ◆理想の住まいや暮らし方について、資料を分析しながら積極的に考えることができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ネットやパソコンを利用して、情報を収集したり、発表の工夫をすることができる。(情報活用) ◆ビデオ撮影・編集をすることができる。(情報活用) ◆与えられた条件を考慮しながら、グループでリフォーム案を考え、発表の工夫をすることができる。(高度思考、協働) ◆人とのつながりを大切にした住居のあり方を考えることができる。(高度思考) ◆住居と文化の関係を考え、住居が人間に与える影響などを考える。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【住まい】</p> <p>2-a. 部屋の様子(日当たりがいい、南向き、散らかっているなど)を、口頭で説明できる。</p> <p>2-b. 家具の配置(何がどこにあるのかなど)について、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>2-c. 家の周りの環境(近くにある建物、静か/にぎやか、駅から近いなど)について、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>3-a. 住居の大きさ・構造(間取り、階、誰が使う部屋かなど)を、口頭でまたは書いて、簡単に説明できる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>
----------------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価 (総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆自分で撮ってきた家の写真を見ながら、その様子や特徴を発表する。(声の大きさ、態度、発音の正確さ、情報量) ◆複数の家の図や写真を見ながら、それについての説明を聞き、それぞれの特徴を理解する。(聞き取りの正確さ、推測力) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「Before & After 大会」で自分のリフォーム案を作成する。(人との交流、環境・バリアフリーへの配慮、創造性、熱意) ◆作成したリフォーム案について発表する。(効果的な発表の仕方、アピール力、声の大きさ、発音の正確さ) ◆リフォーム案について投票を行う。(環境や人への配慮、独創性)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆自分の家の中で、一番のお気に入りの場所やものを3枚の写真に撮ってきて、誰のものか当てるゲームをする。また、それがどこの部屋にあり、何をやるものか、写真を持ってきた人が、韓国語で説明する。【2-b】</p> <p>◆簡単な部屋の間取りと周囲の環境も入れた自宅紹介マップを作り、それを見せながら、家や部屋の様子・特徴を韓国語で説明したり、それに対する質問をしたりする。【2-a,c】【3-a】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> L高校の韓国語クラスでは、韓国の交流校と、自分の家を自由にリフォームしたり、増改築したりして、理想の家の家作りをする「Before & After コンペティション」を開き、それぞれで投票して最も票の多い匠に「最優秀匠賞」を贈ることにした。予算は特に決めないが、(1)外国の友だちをおもてなしてきること、(2)できるだけ「エコ」や「バリアフリー」に配慮することを条件にする。また、個人でもグループでもよいことにする。</p> <p><活動の流れ> 住まいに関する表現を学習した後、自分の家の間取り図を描いて、自分の家の様子や特徴をグループで紹介し合う。日韓の伝統的な住居、現代的な住居に関する書籍や、ネットの検索、不動産のチラシなども活用して、残したい所・変えたい所などのリフォーム案を考える。住居が人間や環境に与える影響や人間関係や環境に配慮した工夫についても考える。 理想の家の簡単な設計図を描き、(1)(2)の条件をどれくらいクリアしているか、どのようにアピールするか、写真やスライド、パソコンなどを使って発表の工夫を考える。 大会の日を設定し、当日はなぜこのようにリフォームしたか、日本語も交えながら韓国語で発表し、その様子を撮影・録画・編集して、日韓双方で投票しあい、「最優秀匠賞」を決める。</p> <p>ヒント☞ ◆韓国との交流校が無い場合は、日本の中で韓国語クラスのある高校と発表し合い、投票する。 ◆校内に韓国語クラスの掲示コーナーを設け、発表の内容をポスターにし、日本語訳もつけて展示し、校内の他の生徒たちにも投票してもらう。</p>	
<p><使用教材・教具> 見取り図等の不動産のチラシ、家や部屋又はその中に有るものの写真、模造紙、パソコン、デジカメ</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 우리집은 지하철 역 근처에 있어서 교통이 편리해요. /현관까지 계단이 없고 경사가 있어요. /복도는 넓어서 휠체어도 들어갈 수 있어요. /욕실하고 화장실에는 손잡이가 있어요. /화장실은 욕실 바로 옆에 있어요. /내 방은 좀 작지만 깨끗하고 햇빛도 많이 들어와요. /거실에는 TV와 소파가 있어서 언제나 가족이 모여요. /우리 집 화장실에는 만화도 있고 잡지도 있어서 도서실 같아요.</p> <p><表現のポイント> —아서/어서/해서 /—고 /—르·을 수 있다·없다 /—지만 /—같아요 /—까지 /—에는</p>	<p>편리하다, 넓다, 좁다, 크다, 작다, 깨끗하다, 있다, 없다, 들어가다, 들어오다, 모이다, 같다, 位置を表す言葉(근처, 바로, 옆, 앞, 뒤, 위, 아래), 바로, 언제나, 많이, 우리집, 지하철, 역, 교통, 방, 현관, 거실, 부엌, 계단, 경사, 복도, 휠체어, 손잡이, 욕실, 화장실, 햇빛, 가족, 도서실</p>	<p><事象> ◆家の中の構造(間取り、トイレ・洗面所・お風呂場など) ◆部屋の違い(畳、オンドル、フローリングなど) ◆家族の集う場所や個室 ◆家具や寝具(ベッドか布団か) ◆ゴミ出し ◆暑さ・寒さのしづ方 ◆地域の環境と住宅の関係 ◆省エネや耐震、防災</p> <p><事象のポイント> ◆理想の住まいや暮らし方について、積極的に考える。 ◆人とのつながりを大切にした住居のあり方を考える。 ◆環境やバリアフリー、省エネや耐震、防災に配慮した住まいについて、調べたり、比較したりする。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
<p>韓国の交流校、日本の韓国語クラスのある高校、不動産の広告ほか、インターネット</p>	<p>理科、生活科学(家庭科)、美術</p>	